

### 3 学業に関する情報

交通事故で家族が亡くなったときに、子どもが学齢期にある場合は、学業に関する情報が必要となります。例えば、一家を経済的に支えていた父親が亡くなった場合には奨学金の情報が必要になったり、兄弟姉妹が亡くなったために保護者が過敏になり、予定していた進路に進めなくなった場合には、その対処法が知りたくなります。ここでは、このような学業に関する事柄について、必要とされる情報の概要を説明します。

#### 1 奨学金や授業料免除等の情報について

交通事故で家族を亡くした子どもは、学費の支援情報を必要としており、特に「親を亡くしたケース」では、7割以上が「奨学金」や「授業料免除・減額」といった情報を必要としていることが、調査結果からわかりました（図9をご参照ください）。

このような情報を得る方法ですが、子どもの担任の先生や学校の奨学金等の担当窓口にお問い合わせください。また、自治体でもそのような制度がある場合がありますので、自治体の児童福祉課や青少年課等の窓口にお問い合わせください。

なお、進学先として検討している学校の奨学金制度等については、インターネットのウェブサイトや学校パンフレットから情報を得ることもできます。詳細の記載がない場合には、直接問い合わせることがよいでしょう。例えば国立大学については、授業料免除や減額の制度があり、私立大学でも、学校によっては成績優秀者の授業料免除等の制度があります。

また、各種団体が実施する奨学金等については、公益財団法人交通遺児育英会や独立行政法人日本学生支援機構、独立行政法人自動車事故対策機構の制度があります。詳細については、各団体や学校に直接お問い合わせください。なお、問い合わせ先は、巻末の支援機関等一覧をご参照ください。

#### 2 進路や進学に関する情報について

交通事故で家族を亡くした子どもの場合、進路や進学に関する特有の情報が必要とされます。例えば、次のようなものがあります。

- ・親が亡くなって経済的なことから希望する進路に進めないことにどう対処したか
- ・精神的・経済的困難さを抱えながら、受験や進学にどう取り組んだか
- ・親に心配されて、または親が心配で親元から離れられず、遠方の大学に進学できない場合にどう対処したか

このような事柄については、具体的な情報は少ないのですが、例えば、前述の公益財団法人交通遺児育英会のウェブサイトに機関紙「君とつばさ」というコーナー

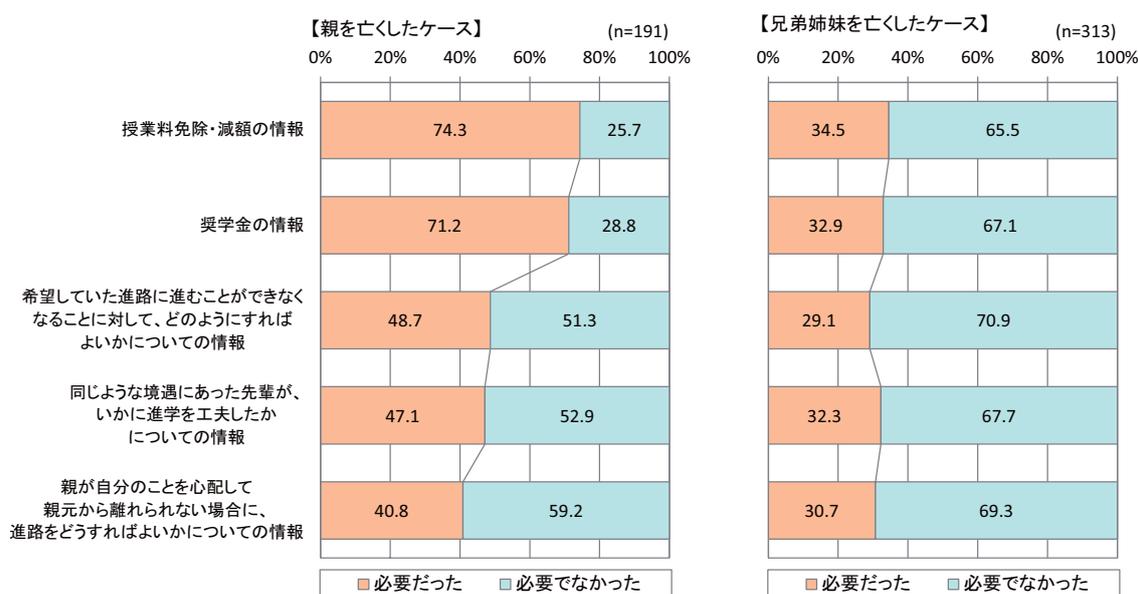
があります。交通事故で親を亡くした子どもやその保護者向けの機関紙ですが、同じような立場にある高校生や大学生の生活の様子なども掲載されており、参考になる情報があるかもしれません。また、あしなが育英会のウェブサイト「活動紹介」というコーナーがあり、高校生や大学生からの意見が寄せられています。さらに、家族を亡くした子ども向けではありませんが、教育関連の民間企業が提供する進学情報（ウェブサイトや書籍等）においても、進学にあたっての工夫など、さまざまな情報が掲載されていますので、参考にしてください。

なお、親元から離れて進学する場合の住居について、大学や専門学校等には、寮や学生会館といった設備がある場合もあり、そのような施設を利用すれば、安価に一人暮らしができるケースもあります。このような施設については、各学校や学生会館等のウェブサイトに掲載がある場合もあります。詳細の記載がない場合には、大学や専門学校等に直接問い合わせるとよいでしょう。また、公益財団法人交通遺児育英会では、東京都日野市と関西地区に「心塾」という学生寮があり（関西地区は借上げ方式）、月2万円～4万円（いずれも2食付・光熱費込）と安価に暮らせる施設を提供しています。

## アンケート結果グラフ

グラフは、「学業に関する情報の必要性の有無」についての回答結果です。アンケート結果からは、親を亡くした場合に、各種情報に対する必要性が高い傾向が示されています。

図9 学業に関する情報の必要性の有無



平成 23 年度内閣府交通事故被害者サポート事業報告書 WEB 調査結果より